

ACP 普及促進ワーキンググループ

(令和2年度)

ACP 普及促進ワーキンググループ報告書

広島県地域保健対策協議会 ACP 普及促進ワーキンググループ

WG長 本家 好文

I. はじめに

平成25年度(2013年度)に広島県地域保健対策協議会(地対協)に「終末期医療のあり方検討特別委員会」が設置され、アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning: ACP)の普及を目指して、「ACPの手引き」「私の心づもり」などのツールやDVDの作成、地区医師会を通じたモデル事業などを実施してきた。

平成29年度(2017年度)からは、在宅医療・介護連携推進専門委員会「ACP普及促進WG」として活動を継続して4年目になる。

この間に、国は医療・介護の専門職だけでなく、一般国民に対しても広くACPの理解を深めるために、2018年11月30日にACPの愛称を「人生会議」と決め、毎年11月30日を「いいみとりの日」と制定した。

また平成30年(2018年)7月31日には、厚生労働省健康局長通知で「地域がん診療連携拠点病院指定要件」に、診療体制(緩和ケア提供体制)において「必要に応じてアドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備すること」が明記され、ACPはがん診療の現場でも広く導入されるようになっていく。

II. WGの開催について

(1) 第1回ACP普及促進WG(令和2年6月8日)
令和元年度の活動報告を確認した後、平成2年度の活動内容について協議・意見交換を行った。

○ACP(人生会議)に関する調査について

普及啓発事業の取り組みの成果を確認するため、広島県医師会A会員を対象として、平成29年度に実施した第1回「ACPに関するアンケート調査」と同様の内容で、第2回アンケート調査を実施した。

広島県医師会B会員や、その他の医療・介護専門

職などへの調査は、今後の検討課題とした。

○「ACPの手引き」説明ツール(県民対象用)作成について

医療・介護関係者向けに「ACPの手引き」説明ツール(パワーポイント)を作成した。また一般県民向け説明ツール作成については、新たなツールは作成せず、ツール使用者が対象者に応じて編集して使用することとした。

○ACP普及推進員の養成について

広島県地域包括ケア・高齢者支援課より、きめ細かい普及のため、「ACP普及推進員」を育成することについて提案があった。

普及推進員の役割の理解、地域による温度差などの課題はあるが、各地域の理解を得ながら研修会開催に向けて準備することとした。

(2) ACP普及推進WG(書面開催)(平成3年3月10日～3月19日)

○広島県ACP普及推進員の名称について

名称を「ACP普及推進員」に決定することについて検討した結果、広島県として養成したACPを普及する者の名称を「広島県ACP普及推進員」と決定した。

○広島県ACP普及推進員養成研修について

令和2年11月29日に福山会場で40名、12月6日に広島会場で44名が参加して「広島県ACP普及推進員養成研修会」を開催した。各会場のプログラムを資料1に示す。

研修会終了後に実施した参加者へのアンケート結果を資料2に示す。研修会の評価は前向きな意見が多く、今後の地域活動において、さまざまな形での取り組みが期待される結果だった。

ACP普及推進員養成研修や、研修修了者に対する継続的なフォローアップ研修会を希望する意見も多かった。

○「ACP（人生会議）に関する調査結果」について
広島県医師会 A 会員を対象として平成 29 年 9 月
に実施した「ACP（人生会議）に関する調査票」と
同様の内容で、令和 2 年 12 月に 2 回目の調査を行っ
た（資料 3）。

Ⅲ. 「ACP に関するアンケート調査結果」

広島県医師会 A 会員を対象として平成 29 年 9 月
に実施した「ACP（人生会議）に関する調査票」と
ほぼ同様の内容で、令和 2 年 12 月に 2 回目の調査を
行った。

【調査結果について】（資料 4）

実施したアンケートの回収率は 19.9%（451/2,269）
で、第 1 回の 30.1%（691/2,299）と比較して低下し
ていた。

（質問 1）「ACP を知っていますか」

「知っている（内容を理解している）」が 66.3%
（298/451）であり、前回の 41.7%（288/691）
に比較して認知度は向上していた。

（質問 2）患者が「私の心づもり」を持参したとき
一緒に考えることができますか？

「一緒に考えることができる」と回答した率は
80.3%（362/451）で、前回の 82.2%（569/691）
とほぼ同様の結果だった。

（質問 3）患者や家族から ACP の相談を受けたこ
とがありますか？

「ある」と回答したのは 29.3%（132/451）で、
前回の 16.4%（113/691）と比較して増加してい
た。

（質問 4）ACP を実践していますか？

「実践している」と回答したのは 29.0%（131/451）
で、前回の 15.3%（106/691）と比較して倍増
していた。

（質問 5）医療・介護従事者や住民に対し、ACP の
普及啓発を実践していますか？

「実践している」と回答したのは 29.3%（135/451）
で、前回の 20.8%（144/691）と比べてやや増
加していた。

（質問 6）ACP の講演や研修に参加したいですか？

「参加希望」は 61.9%（279/451）で、前回の
65.6%（453/691）と同様に関心が高かった。

（質問 8）ACP 普及に対する困難さについては、
対応できる時間の不足が 52.5%（237/451）、

ACP に関する知識・経験不足が 38.5%（174/451）、
介入のタイミングの難しさが 44.1%（199/451）
などだった。

（自由記載）の内容をまとめると、以下のような内
容だった。

- ・「人生の最終段階」の少し前の段階で、死が差
し迫るまでの関わりが重要であり、かかりつけ
医が担う役割は大きいと思われる。しかし、限
られた診療時間内に ACP を実施するのは困難と
の意見が多かった。このような時期の患者に対
する ACP は、ケアマネージャーや訪問看護師
などが中心となり、主治医と連携して ACP を
行うのが現実的と思われる。
- ・ACP 普及推進員の研修内容には、ACP を実行す
るための知識だけでなく、担当医との連携に
ついて盛り込む必要がある。
- ・今回の調査結果から、医師には「ACP の実行」
を求めるような啓発よりも「ACP を知る」「ACP
に関する介護・訪問看護との連携」を中心に啓
発するのが現実的である。
- ・ACP を通して、医療・介護の現場で多職種同士
が「気持ちを分かってもらえている」という信
頼感・安心感を共有するためのコミュニケー
ション能力を身につけることが重要である。

Ⅳ. 「ACP のてびき」の配布状況について （資料 5）

第 1 版は 2014 年 3 月 5 日から配布を開始して
「26,672 部」。

第 2 版は 2015 年 12 月 25 日から配布して「61,062
部」。

第 3 版は 2019 年 1 月 15 日から配布して、2021 年
3 月 31 日現在で「89,429 部」になり、総計では
「177,163 部」が県内外に配布され、さまざまな場
面で普及啓発用ツールとして貢献している。

Ⅴ. おわりに

救急医療の現場では、本人の意思確認が困難なこ
とも多い。そうしたなかで「心肺蘇生を行うのか」
「人工呼吸器を装着するのか」といった生命に関わる
判断を迫られることもある。本人の意思が確認でき
ない場合に、近親者の意向にそって、人工呼吸器を
つけることもある。その結果、一命はとりとめたも

の意識が戻らず、寝たきり生活が続き、見通しも立たない状態で「これが本人の望んだ状況なのだろうか」と悩むこともある。

脳血管疾患、外傷、認知症など、自分の判断能力が低下した場合に備えて、どのような医療やケアをして欲しいのか、して欲しくないのかを、前もって話し合い、意思表示しておくことは大切である。

本人が自分の意思を文書に残し、その内容につい

て、どうしてそのように考えるに至ったのかを話し合うことは、もっと大切かも知れない。

コロナ禍では、高齢者だけでなく、若い人でも、いつ命を脅かすような事態に遭遇するか分からないと不安を感じている人も増えている時代である。

今後ACPが医療や介護の現場で、ますます重要視されることは間違いない。広島県地对協では、引き続きACPの普及啓発に努めていく予定である。

ACP 普及推進員養成研修

○広島会場

日時：12月6日（日）10：30～15：15
 場所：広島県医師会館 201 会議室
 （広島市東区二葉の里三丁目 2-3）
 定員：約 40 人 受講者 44 人

○福山会場

日時：11月29日（日）10：30～15：15
 場所：福山すこやかセンター多目的ホール
 （福山市三吉町二丁目 11-22）
 定員：約 40 人 受講者 40 人

○研修内容

時間	内容	講師等
10：00	受付開始	
10：30～ 10：35	開会挨拶	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課 課長 増廣 典子
10：35～ 12：20	基礎講習（質疑応答含む） ・ACPとは（ACPの基本説明、 医療・介護等関係者の関わり） ・ACPを勧めていくには（事例等） ・「私の心づもり」の説明 など	【広島会場】 安芸地区医師会ACP推進事業検討委員会委員長 安芸市民病院 緩和ケア部長兼地域連携室担当医 松浦 将浩 【福山会場】 福山市医師会 副会長（まるやまホームクリニック） 丸山 典良
12：20～ 13：20	昼休憩	
13：20～ 15：00	グループワーク ・演習1 ACPのポイント整理 ・演習2 ACP普及のイメージ化 ・演習3 ACP普及の行動目標 など	・全体進行 東広島地区医師会 地域連携室あざれあ 室長 三上 雅美 ・ファシリテーター 広島県地域保健対策協議会ACP普及促進 ワーキンググループ委員等
15：00～ 15：10	全体のまとめ	【広島会場】 広島県地域保健対策協議会ACP普及促進WG委員長 広島県がん対策課 緩和ケア推進監 本家 好文 【福山会場】 福山市医師会 副会長（まるやまホームクリニック） 丸山 典良

「令和2年度広島県 ACP 普及推進員養成研修」アンケート
集 計 結 果 (広島会場)

実施日	令和2年12月6日(日)
会場	広島県医師会館 201 会議室
申込者数	46 人
受講者数	44 人 (2 名欠席)
アンケート回収	44 人 アンケート回収率 100%

1 受講の感想などについて、教えてください。

(1) 「基礎講習」について

① 内容

ア よくわかった イ わかった ウ 普通 エ わかりにくかった オ わからなかった

ア	イ	ウ	エ	オ
36	8	0	0	0
81.8%	18.2%	0%	0%	0%

② 時間

ア 長い イ 少し長い ウ ちょうど良い エ 少し短い オ 短い

ア	イ	ウ	エ	オ
2	3	36	3	0
4.5%	6.8%	81.8%	6.8%	0%

(2) 「グループワーク」について

① ACPのポイントは整理できましたか。

ア 非常に理解できた イ ある程度理解できた ウ あまり理解できなかった
エ 全く理解できなかった

ア	イ	ウ	エ	未回答
22	19	0	0	3
50.0%	43.2%	0%	0%	6.8%

② ACP普及のイメージ化はできましたか。

ア 非常にできた イ ある程度できた ウ あまりできなかった エ 全くできなかった

ア	イ	ウ	エ	未回答
14	26	1	0	3
31.8%	59.1%	2.3%	0%	6.8%

③ ディスカッションは満足できましたか。

ア 非常に満足できた イ ある程度満足できた ウ あまり満足できなかった
エ 満足できなかった

ア	イ	ウ	エ	未回答
16	23	1	0	4
36.4%	52.3%	2.3%	0%	9.1%

④ 時間は適当でしたか。

ア 長かった イ やや長かった ウ やや短かった エ 短かった

ア	イ	ウ	エ	ちょうどよい	未回答
2	13	16	1	9	3
4.5%	29.5%	36.4%	2.3%	20.5%	6.8%

(3) 本研修参加前と参加後と比較して、ACPの理解度について教えてください。

ア 理解度があがった イ 参加前と変わらない

ア	イ
42	2
95.5%	4.5%

(4) 本研修は今後の普及啓発に活かされますか。

ア 活かせる イ 概ね活かせる ウ あまり活かさない エ 活かさない

ア	イ	ウ	エ	未記入
21	22	0	0	1
47.7%	50.0%	0%	0%	2.3%

(5) すで実践されておられる方にお聞きします。

実践する上で困難と感じる点について教えてください。(複数選択可)

実践あり：32名，実践なし：12名

ア チーム内(多職種)の意欲・理解度の差	11	13.4%
イ 職場内(上司等)での理解が得にくい	2	2.4%
ウ 日常業務の多忙	18	22.0%
エ 患者・家族・市民の無関心	10	12.2%
オ 始めるタイミング，きっかけ	13	15.9%
カ 言葉かけの手法，技術	15	18.3%
キ 言語化・表出されるものが真意であるのかの汲み取り	5	6.1%
ク 信頼関係の構築	4	4.9%
ケ その他	4	4.9%

(6) フォローアップ研修や情報交換会は必要と思われますか。

必要と思われるものに印や記入をお願いします。(複数回答可)

ア フォローアップ研修 イ 情報交換会 ウ Web を活用した情報交換
エ その他

ア	イ	ウ	エ	未回答
32	29	17	0	2
40.0%	36.3%	21.3%	0%	2.5%

(7) 本研修修了後、ACP普及推進員(仮称)としてどのような普及啓発を考えておられますか。

場所	対象者
スーパーのイトインの活用で実践	市民
サロン、公民館、介護者教室、多職種による相談、担当地域、地域包括支援センター	地域住民、地域住民(70歳～80歳)、高齢者、高齢者を親に持つ世代の人、民生委員
担当地域	包括や行政機関が発行している広報誌で町内の回覧による啓発
外来	通院患者
利用者宅、アセスメント時	現利用者、現利用者(比較的、病状が安定されている方)、その家族
医師会館等	医師、看護師
当事業所	事業所職員
研修会	ケアマネージャー
多職種連携協議会等	医療・介護等専門職(看取りにこの連携は欠かせない。)
出前講座	団体、市民、老人クラブ、げんき教室等
実家	両親
連絡会	高齢者巡回相談員、民生委員、区長
RCC ラジオ「鹿見勇輔福祉のラジオ」	リスナー
かき打ち小屋	集まっている高齢者
どこでも	誰にでも
広島テレビ「24時間テレビ」	県民

(8) その他、研修に関する御意見などについて、自由にお書きください。

- ・他グループの意見を聞くことで参考になることもあった。現在、コロナ禍で健康な人もACPを考えるいいチャンスだと思うのでチャンスを捉えて活動していきたい。
- ・グループでまとまった意見を資料として見たい。

- ・ A C P 普及推進員は「人生会議普及推進員」が良いと思う。コロナ感染予防からオンライン形式の方が良いと思う。
- ・ まず一番身近な職場のスタッフに研修内容をしっかりと伝えることから少しずつ地域に広げていきたい。
- ・ この度は呉市医師会の先生が参加されていないように感じた。呉市医師会から A C P を聞いたことがないので、医師との連携が難しい。しかし、協力していかないといけないと感じた。
- ・ 今年度、 A C P についての研修に 3 回参加し、やっとポイントや普及方法などの意識を持つことができた。今後もその意識を保つため、機会を作って研修に参加したい。
- ・ 事例紹介で泣きそうになった。とても良い研修で参加できてよかった。
- ・ まずは身近なところで取組み（事業所内）当地域で勉強会を持ちたい。自宅での看取りケースも 10 年、20 年前よりも確実に増えている。とても大事な確認作業だと思う。
- ・ 専門職の心得 Q & A も参考になった。理解を得られないクリニックの先生に A C P に興味を持ってもらうためにも、 A C P の普及は大事なことだとあらためて思った。
- ・ A C P の研修会に参加し、ここまでしっかり考えたことがなく、もっと利用者に寄り添い、本人の思いをしっかり聞くことが大切だと思った。
- ・ 皆さん熱心に意見交換してくださった。参考になった。ありがとうございました。
- ・ 私は病院勤務なので、最終的に病院で亡くなる人にとって A C P はまだあまり活かしていないのが実感である。本人の気持ちより家族の気持ちが優先になって、延命治療がされているのが、現状である。主軸である医師の持ついきようが大きく左右するので医師への普及が大切だと思う。
- ・ 演習 2 「普及のイメージ化」と演習 3 「普及行動目標」の回答が似た内容になってしまった。

「令和2年度広島県 ACP 普及推進員養成研修」アンケート
集 計 結 果（福山会場）

実施日	令和2年11月29日（日）
会場	福山すこやかセンター多目的ホール
申込者数	41人
受講者数	40人（1名欠席）
アンケート回収	40人 アンケート回収率100%

1 受講の感想などについて、教えてください。

(1)「基礎講習」について

① 内容

ア よくわかった イ わかった ウ 普通 エ わかりにくかった オ わからなかった

ア	イ	ウ	エ	オ
32	8	0	0	0
80.0%	20.0%	0%	0%	0%

② 時間

ア 長い イ 少し長い ウ ちょうど良い エ 少し短い オ 短い

ア	イ	ウ	エ	オ
0	3	37	0	0
0%	7.5%	92.5%	0%	0%

(2)「グループワーク」について

① ACPのポイントは整理できましたか。

ア 非常に理解できた イ ある程度理解できた ウ あまり理解できなかった
エ 全く理解できなかった

ア	イ	ウ	エ	未回答
19	20	0	0	1
47.5%	50.0%	0%	0%	2.5%

② ACP普及のイメージ化はできましたか。

ア 非常にできた イ ある程度できた ウ あまりできなかった エ 全くできなかった

ア	イ	ウ	エ
13	27	0	0
32.5%	67.5%	0%	0%

③ ディスカッションは満足できましたか。

ア 非常に満足できた イ ある程度満足できた ウ あまり満足できなかった
エ 満足できなかった

ア	イ	ウ	エ
23	17	0	0
57.5%	42.5%	0%	0%

④ 時間は適当でしたか。

ア 長かった イ やや長かった ウ やや短かった エ 短かった

ア	イ	ウ	エ	ちょうどよい
0	10	22	0	8
0%	25.0%	55.0%	0%	20.0%

(3) 本研修参加前と参加後と比較して、ACPの理解度について教えてください。

ア 理解度があがった イ 参加前と変わらない

ア	イ	未回答
37	2	1
92.5%	5.0%	2.5%

(4) 本研修は今後の普及啓発に活かしますか。

ア 活かせる イ 概ね活かせる ウ あまり活かさない エ 活かさない

ア	イ	ウ	エ
25	15	0	0
62.5%	37.5%	0%	0%

(5) すでに実践されておられる方にお聞きします。

実践する上で困難と感じる点について教えてください。(複数選択可)

実践あり：33名、実践なし：7名

ア チーム内(多職種)の意欲・理解度の差	9	9.9%
イ 職場内(上司等)での理解が得にくい	0	0%
ウ 日常業務の多忙	13	14.3%
エ 患者・家族・市民の無関心	13	14.3%
オ 始めるタイミング、きっかけ	17	18.7%
カ 言葉かけの手法、技術	13	14.3%
キ 言語化・表出されるものが真意であるのかの汲み取り	14	15.4%
ク 信頼関係の構築	7	7.7%
ケ その他	5	5.5%

(6) フォローアップ研修や情報交換会は必要と思われますか。

必要と思われるものに印や記入をお願いします。(複数回答可)

ア フォローアップ研修 イ 情報交換会 ウ Web を活用した情報交換
エ その他

ア	イ	ウ	エ	未回答
27	26	7	0	1
44.3%	42.6%	11.5%	0%	1.6%

(7) 本研修修了後、ACP普及推進員(仮称)としてどのような普及啓発を考えておられますか。

場所	対象者
サロン	高齢者, 元気な高齢者, 地域住民
企業	40 から 60 歳
学校	20 歳代
地域ケア会議	民生委員
当院	がん患者さんとそのご家族, がんサロンでの ACP についての話
民協定例会, 公民館	地域住民, 民生委員
カフェ, 予防教室, 住民学習会, 地域活動の場,	地域住民
近隣コミュニティ	家族介護者
職場内	グループ内の事業所スタッフ, 社員
民間企業	従業員
会議を通して	包括スタッフ
福山市医師会という組織を利用して	在宅介護スタッフ
利用者宅	利用者
三次地域密着型サービス事業所連絡会, 会議	小規模多機能グループホーム管理者
地域から病院で医療, 介護連携研修など行政と共に	医師会, CM, 施設など事業者
神石高原町の公民館で丸山先生をお呼びしての講演会	地域住民, 多職種連携
-	カードゲームを通じての普及

(8) その他, 研修に関する御意見などについて, 自由にお書きください。

- ・ ACPメイトは三原でも導入してみたい。
- ・ 10月に当院でACPワーキンググループを立ち上げたばかりでタイムリーに学ぶことができて良かった。

- ・ACPをポジティブに考えることを提案することが大切と知った。
まずは知ってもらうことから大事なのではないかと感じた。既存の活動に+αする形で、詰め込むのではなく少しずつ知ってもらうことができたらと思う。
- ・丸山先生のお話が大変わかりやすかった。
- ・久しぶりにGWをして顔が見える研修会は良いと思った。
- ・地域包括支援センターの役割が重要になってくるという事を今日改めて実感した。
- ・マイナスなイメージも多い中、いかにポジティブに考えていかれるか豊かな人生にしていくかを普及していきたいと思う。「これから手帳」を用いてサロンでACPにつなげていきたいとも考えている。
- ・自分が楽しくないと人に伝わらないことが多いと思う。楽しめる研修を今後もお願いします。今日はとても楽しくテンションがあがった。
- ・伝え方の具体例などを教えていただけるとありがたい。
- ・キャラバンメイトのように事務局が取りまとめて、それぞれに振り分けてもらえるとなりやすい。（企業や学校、地域等からの出前講座の要請）
- ・丸山先生の事例がイメージしやすくとてもよかった。事例（成功、失敗）をまた教えていただきたい。（個別事例、普及させた事例）
- ・ACPについての考え方が深まった。伝え方が難しいと思っていたが楽しく伝える工夫をしながら広めたい。まずは専門職に伝えてみる。専門職も会社から離れると一住民であることを忘れていた。
- ・本人だけでなく家族も含めて、今後のことを考えていくことが大切ということが良く分かった。ありがとうございました。
- ・丸山先生も言われていた通りコロナ禍ということもあり、ZOOM会議でのネットワークが増えているが、やはり会場で顔の見える形での研修だと気持ちを共有することができた。
- ・グループワークは皆さんの意見が伺えて良かった。講義はわかりやすく参考になった。ありがとうございました。
- ・色々な立場からの見方、考え方があり、勉強になった。暗い話にはならず明るく考えていきたいと思う。
- ・啓発ツールなどあれば紹介していただければ助かる。
- ・理解することができ、ACPを普及していきたい。
- ・他の方と意見交換でき良かった。医療機関にも行って欲しい。
- ・既に高齢独居、高齢者世帯が多く、セルフネグレクトも見受けられる。（積極的治療をどうするかではなく）どういう生活や最期を家族とできるのかを考える一端になればと思うことが多かったので、勉強になった。更に多職種がどうあれば良いかを見出していけたらと思う。
- ・神石高原町役場保健課と共に計画を立てて行っていく。

ACP(人生会議)に関する調査票

質問 1 ACP を知っていますか。

- a. 知っている(内容を理解している)
- b. 知っているが名前を聞いたことがある程度(内容はあまり詳しく知らない)
- c. 知らなかった(今回初めて知った)

質問 2 患者が「私の心づもり」を持参したときに一緒に考えることができますか。

- a. できる
- b. できない(理由:)

質問 3 患者や家族から ACP の相談を受けたことがありますか。

- a. ある
- b. ない

質問 4 ACP を実践していますか。

- a. 実践している
- b. 実践していないが、今後実践してみたい
- c. 実践していない(理由:)

質問 5 医療・介護従事者や住民に対し、ACP の普及啓発を実施していますか。

- a. 実施している
- b. 実施していない(理由:)

質問 6 ACP の講演や研修に参加したいですか。

- a. 参加したい
- b. 参加したくない(理由:)

質問 7 ACP を普及啓発するために、どのような取組が有効だと考えますか。(自由記載)

質問 8 ACP の普及に困難さがあるとすれば、それはどのような理由からでしょうか。(複数

- 回答可)
- a. 対応できる時間の不足
 - b. ACP に関する知識・経験の不足
 - c. 診療対象となる患者の状況
 - d. 患者からの要望がないこと
 - e. 介入タイミングの難しさ

質問 9 その他ご意見がございましたらご自由にお書きください。

集計結果は令和 3 年発行予定の「令和 2 年度地対協調査研究報告書」で報告します。

ACPに関する調査 集計結果

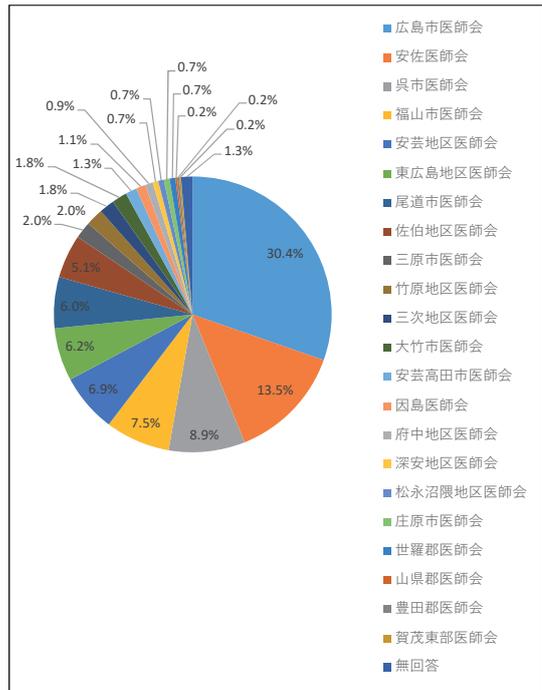
※「割合(%)」は小数点第二位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります

◆回収状況

配布件数	回収件数	回収率(%)
2269	451	19.9

所属地区医師会（全回収件数中の割合）

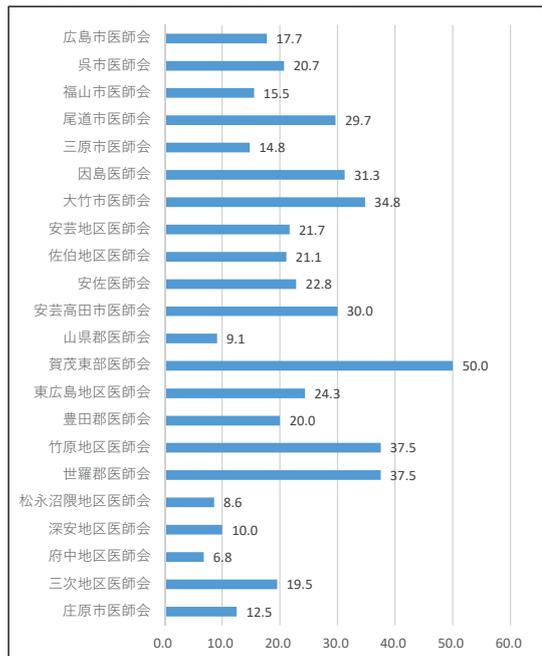
区分	件数	割合(%)
広島市医師会	137	30.4
安佐医師会	61	13.5
呉市医師会	40	8.9
福山市医師会	34	7.5
安芸地区医師会	31	6.9
東広島地区医師会	28	6.2
尾道市医師会	27	6.0
佐伯地区医師会	23	5.1
三原市医師会	9	2.0
竹原地区医師会	9	2.0
三次地区医師会	8	1.8
大竹市医師会	8	1.8
安芸高田市医師会	6	1.3
因島医師会	5	1.1
府中地区医師会	4	0.9
深安地区医師会	3	0.7
松永沼隈地区医師会	3	0.7
庄原市医師会	3	0.7
世羅郡医師会	3	0.7
山県郡医師会	1	0.2
豊田郡医師会	1	0.2
賀茂東部医師会	1	0.2
無回答	6	1.3
計	451	100



所属地区医師会（所属会員比）

区分	件数	割合(%)
広島市医師会	137	17.7
呉市医師会	40	20.7
福山市医師会	34	15.5
尾道市医師会	27	29.7
三原市医師会	9	14.8
因島医師会	5	31.3
大竹市医師会	8	34.8
安芸地区医師会	31	21.7
佐伯地区医師会	23	21.1
安佐医師会	61	22.8
安芸高田市医師会	6	30.0
山県郡医師会	1	9.1
賀茂東部医師会	1	50.0
東広島地区医師会	28	24.3
豊田郡医師会	1	20.0
竹原地区医師会	9	37.5
世羅郡医師会	3	37.5
松永沼隈地区医師会	3	8.6
深安地区医師会	3	10.0
府中地区医師会	4	6.8
三次地区医師会	8	19.5
庄原市医師会	3	12.5

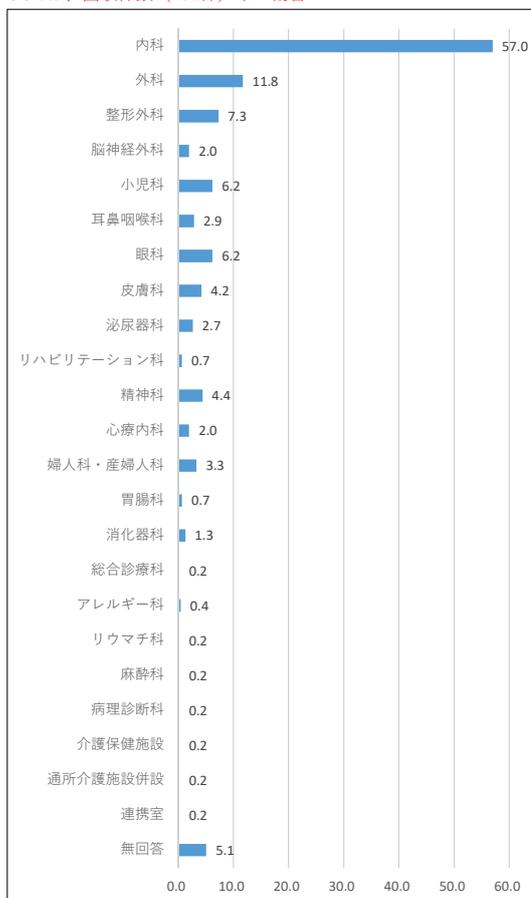
※%は、所属会員数に対する回答数の割合



診療科を教えてください（複数回答可能）

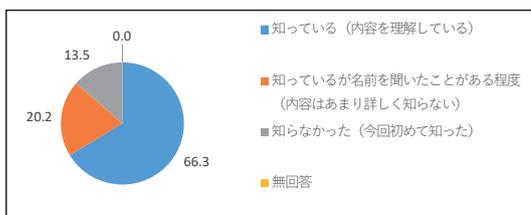
区分	件数	割合(%)
内科 (消化器内科、胃腸内科、循環器科、 循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、 緩和ケア科、緩和ケア内科、放射線科、 一般内科を含む)	257	57.0
外科 (乳腺外科、肛門科、肛門外科、形成外科 を含む)	53	11.8
整形外科	33	7.3
脳神経外科	9	2.0
小児科	28	6.2
耳鼻咽喉科	13	2.9
眼科	28	6.2
皮膚科	19	4.2
泌尿器科	12	2.7
リハビリテーション科	3	0.7
精神科	20	4.4
心療内科	9	2.0
婦人科・産婦人科	15	3.3
胃腸科	3	0.7
消化器科	6	1.3
総合診療科	1	0.2
アレルギー科	2	0.4
リウマチ科	1	0.2
麻酔科	1	0.2
病理診断科	1	0.2
介護保健施設	1	0.2
通所介護施設併設	1	0.2
連携室	1	0.2
無回答	23	5.1

※%は、回収件数（451件）中の割合



問1 ACPを知っていますか。

区分	件数	割合(%)
知っている（内容を理解している）	299	66.3
知っているが名前を聞いたことがある程度（内容はあまり詳しく知らない）	91	20.2
知らなかった（今回初めて知った）	61	13.5
無回答	0	0.0
計	451	100.0



問2 患者が「私の心づもり」を持参したときに一緒に考えることができますか。

区分	件数	割合(%)
できる	362	80.3
できない	76	16.9
無回答	13	2.9
計	451	100.0



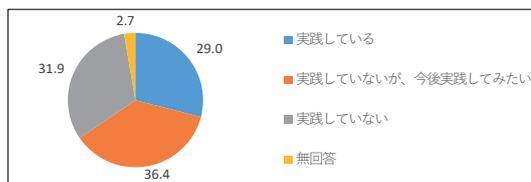
問3 患者や家族からACPの相談を受けたことがありますか。

区分	件数	割合(%)
ある	132	29.3
ない	314	69.6
無回答	5	1.1
計	451	100.0



問4 ACPを実践していますか。

区分	件数	割合(%)
実践している	131	29.0
実践していないが、今後実践してみたい	164	36.4
実践していない	144	31.9
無回答	12	2.7
計	451	100.0



問5 医療・介護従事者や住民に対し、ACPの普及啓発を実施していますか。

区分	件数	割合(%)
実践している	135	29.9
実践していない	310	68.7
無回答	6	1.3
計	451	100.0



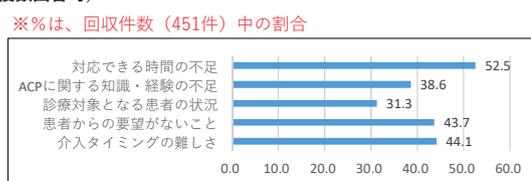
問6 ACPの講演や研修に参加したいですか。

区分	件数	割合(%)
参加したい	279	61.9
参加したくない	140	31.0
無回答	32	7.1
計	451	100.0



問8 ACPの普及に困難があるとすれば、それはどのような理由からでしょうか。(複数回答可)

区分	件数	割合(%)
対応できる時間の不足	237	52.5
ACPに関する知識・経験の不足	174	38.6
診療対象となる患者の状況	141	31.3
患者からの要望がないこと	197	43.7
介入タイミングの難しさ	199	44.1



ACPの手引きの配布状況について

バージョン	所在	件数	部数
第1版	県内	74	13,122
	県外	3	350
	合計	77	13,472
速報付録①		6,579	6,600
速報付録②		6,623	6,600
総配布数		13,356	26,672
第2版	県内	321	51,528
	県外	58	2,834
	合計	379	54,362
速報付録③		6,692	6,700
総配布数		7,450	61,062
第3版 (3/31時点)	県内	372	79,349
	県外	19	3,180
	合計	391	82,529
速報付録④		6,880	6,900
総配布数		7,662	89,429
総数			177,163

2021.03.31現在

令和2年度 広島県地域保健対策協議会 第2回ACP普及促進WG

令和3年3月
文書開催

◆…委員長

氏名	所属
◆ 本家 好文	広島県健康福祉局がん対策課緩和ケア推進監
倉田 明子	広島大学病院精神科・緩和ケアセンター診療講師
越部 恵美	広島県介護支援専門員協会常任理事
小山 峰志	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長
住吉 秀隆	広島市東区医師会副会長（すみよし内科クリニック）
近村 美由紀	広島県訪問看護ステーション協議会副会長
藤原 雅親	東広島地区医師会理事（藤原内科医院）
松浦 将浩	安芸地区医師会 ACP 推進事業検討委員会委員長 安芸市民病院緩和ケア部長兼地域連携室担当医
丸山 典良	福山市医師会副会長（まるやまホームクリニック）
三上 雅美	東広島地区医師会地域連携室あざれあ室長
保永 康枝	広島県看護協会訪問看護ステーション「ひろしま」次長
高村 省三	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課長
遠山 郁也	広島市健康福祉局保健部医療政策課長
増廣 典子	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課長
新 魚谷 啓	広島県医師会常任理事
新 落久保 裕之	広島県医師会常任理事

（敬称略・順不同）

広島県地域保健対策協議会 ACP 普及促進ワーキンググループ

WG長 本家 好文 広島県健康福祉局がん対策課
委員 魚谷 啓 広島県医師会
落久保裕之 広島県医師会
倉田 明子 広島大学病院精神科・緩和ケアセンター
越部 恵美 広島県介護支援専門員協会
小山 峰志 広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会
住吉 秀隆 広島市東区医師会
高村 省三 広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
近村美由紀 広島県訪問看護ステーション協議会
遠山 郁也 広島市健康福祉局保健部医療政策課
藤原 雅親 東広島地区医師会
増廣 典子 広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課
松浦 将浩 安芸地区医師会
丸山 典良 福山市医師会
三上 雅美 東広島地区医師会地域連携室あざれあ
保永 康枝 広島県看護協会